

From JPMA

画期的新薬を、より早く患者さんに届けるために

日本でドラッグ・ラグが生じる原因はいろいろな要因が挙げられます。臨床開発期間や承認審査期間が長いことや、企業が欧米で治験を先行させるため、日本での治験の着手時期が遅れていることなどです。新薬を少しでも早く患者さんに届けるために、官民対話などを通じて産官学が協力し、「革新的医薬品創出のための5か年戦略」をはじめ、課題解決に向けた活動を着実に進めていくことが重要です。

(10月外部講演会にて)



日本製薬工業協会
会長 庄田 隆

日本製薬工業協会（製薬協）

Japan Pharmaceutical Manufacturers Association (JPMA)

製薬協は、病院、診療所などの医療機関で使われる医療用医薬品の研究・開発を通じて世界の人々の健康と福祉の向上に貢献することをめざす、研究開発志向型の製薬会社が加盟する団体で、1968年に設立されました。

製薬協は、「患者中心の医療の実現」に向けて、医薬品に対する理解を深めていただくための活動、ならびに製薬産業の健全な発展のための政策提言などをおこなっています。

製薬協は、国際製薬団体連合会(IFPMA)の加盟団体として世界の医療・医薬に関わる諸問題に対応し、各団体と連携を図りながら、グローバルな活動を展開しています。